

デジタルコンテンツ活用授業 1 人 1 実践への支援

取手市コンピュータ教育クラブ (CECT) 研究部長 田鍋 文雄
admin@cect.net

キーワード：ネットワーク配信コンテンツ・PC を活用した授業

1. 取手市内小中学校における教員の PC 活用についての実態調査

市内小中学校全教員を対象とした「学校における PC 活用についての実態調査」を Web 上で実施し、コンテンツを活用した授業実施への可能性を調査したところ、170 名より以下のような回答を得た。(H16. 8. 23～H16. 10. 31)

質 問	Yes	No
あなたは校務の処理で PC を使っていますか？	86.9%	13.1%
あなたは授業の準備に PC を使っていますか？	62.0%	38.0%
あなたは学習指導に PC を使ったことがありますか？	77.8%	22.2%
あなたはコンテンツを使って授業をしたことがありますか？	43.5%	56.5%
あなたは教科の学習にコンテンツを使ってみたいと思いますか？	85.1%	14.9%
普通教室で PC を活用した授業をやってみたいと思いますか？	81.5%	18.5%
あなたには学校で自分が使いたいときにいつでも使える PC がありますか？	55.7%	44.3%

市内教員の学習指導における PC 活用経験がある割合は非常に高かった一方、コンテンツを活用した教科指導経験は少なかった。確実にニーズは高まっていることが明らかになった。特に、「普通教室での PC を活用した授業のための環境整備」を主な支援活動とすることにした。

2. コンテンツ選定のための支援活動

コンテンツを登録する業者との連絡のもと、いくつかの業者によるコンテンツについての説明会を実施した。コンテンツ選定においては、「その全体を把握し、実際の教科指導への活用を想定する」ことが不可欠である。しかしながら、配信コンテンツの試用には時間の制約があったため、CD-ROM を用いた選定がもっとも効率的であった。また、制作者とのコミュニケーションが可能であるため、授業者のニーズにあったコンテンツの改良等を依頼することもできた。

3. 配信コンテンツ活用のためのネットワークおよび PC 環境整備のための支援活動

教室に配置する PC の不足は死活問題である。そこで、NPO であるアインシュタイン・プロジェクトより 20 台の PC の寄贈を受け、ネットワーク環境等を整備した上で希望する市内の小中学校に寄贈した。

また、若干の知識を必要とするコンテンツ配信のための PC 設定を、市内各小中学校を巡回しながら、簡単なレクチャーをすると同時に進めた。

さらに、校内 LAN の設備が不十分な学校については、希望に応じてネットワーク機材を寄贈すると同時に配線工事を実施した。

4. 配信コンテンツ活用授業実践記録の蓄積・データベース化

コンテンツ活用の授業実践は、「経験者であれば難しいことではない」が「未経験者にとっては敷居が高い」イメージがある。そこで、取手市教育委員会と協力し「コンテンツを活用した授業は、校内のみでなく市内全教員に公開する」とし、指導案を掲示板で公開し、実践事例の蓄積をすすめることとした。この原稿提出の時点で、本年度の実践記録を実践者に依頼している。発表会においては、整理したものを披露できるようにデータベース化の準備を進めている。また、そこにコンテンツについての評価を併記し、次年度のコンテンツ選定の参考とするようにしたい。

5. 今後の活動について

コンテンツ活用実践を進めていくうちに、インタラクティブ・ボード的な設備が教室に必要なことがわかった。そこで、希望する学校には必要な機材を寄贈または貸与することで、その活用を含めた実践記録の更なる蓄積を目指したい。

なお、この事業に関する取手市教育委員会の取り組みについては、「ネットワーク配信コンテンツ活用推進事業」に関する報告会 (H17. 3. 3) にて発表する予定である。